

FREEDOM IS NOT FREE!－自由のために闘うアジアのキリスト者

日本キリスト改革派・灘教会 「キリスト教文化講演会」

2023年9月10日

金城学院大学 准教授／宗教主事 松谷暁介

0 はじめに

- ・映画「時代革命」／監督:周冠威(キウイ・チョー)
- ・音楽「栄光あれ、香港」(Glory to Hong Kong)

	2017年	2023年
中国	15	9
香港	61	42
アメリカ	89	83
日本	96	96
ノルウェー	100	100

1 中国大陸と香港における「自由」をめぐる状況

1-1 中国における「自由」をめぐる諸問題

- ・NGO「フリーダム・ハウス」

「政治的権利」と「市民的自由」の度合いを評価(100点満点中)

- ・経済的にはGDPは世界2位だが……政治的には一党独裁体制(党国体制)
選挙・投票の権利が認められていない／言論・報道・集会・結社の自由は大きく制限

- ・「信教の自由」は？

憲法 第36条「中華人民共和国公民は、宗教を信仰する自由を有する。……宗教団体と宗教事務は外国の勢力による支配を受けない」

公認五大宗教＝愛国宗教団体:仏教、道教、イスラム教、カトリック、プロテスタント

非公認制度＝登録・加盟しない非公認組織は違法・非愛国と見なされる

1-2 中国におけるキリスト教の概要

- ・諸々の制限:教会・神学校 △(登録・許可が必要)／キリスト教主義学校 × ／宣教師 × ／教派設立 ×

- ・公認教会 三自教会(三自愛国教会) 約3800万人

中国基督教三自愛国運動委員会／中国基督教協会に所属する教会群の総称(≠教派)

- ・非公認教会 家庭教会:(約5000～6000万人?)

非公認教会の総称(≠教派)

- ・軍総参謀本部制作の宣伝動画「静かなる戦い」(2013年)

自由貿易による「西洋文化」の流入を警戒

キリスト教が1億人に迫るとして警戒

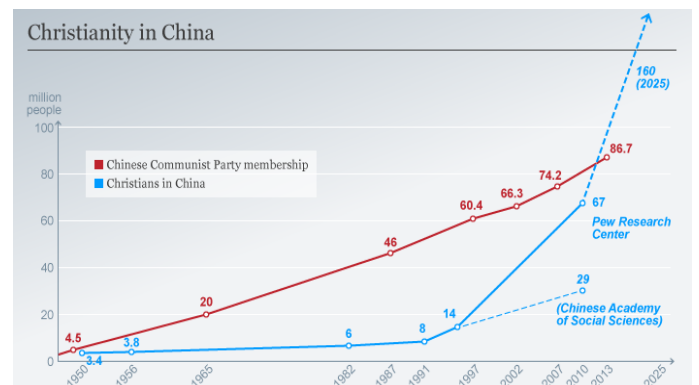
- ・国家安全藍皮書(2014年)

「西洋敵対勢力の中国に対する宗教渗透の方式は更に

多様化・広範囲化しており、手段も多様化・隠蔽化してきている

- ・「宗教の中国化」／「キリスト教の中国化」

特に2015年以降に強調／政治的中国化? 文化的中国化?



- 2012年以降の習近平体制 取り締まり強化
 - 2014年～15年 公認教会の十字架強制撤去(福建省)
 - 2017年 宗教事務条例の改訂
 - 2017年 公認教会の十字架強制撤去(河南省)
 - 2018年 有力な非公認教会の閉鎖／牧師逮捕
- 中国の「エルサレム」温州市での十字架撤去
 - 2012年以降、違法建築を口実に統制強化／公認教会に対する十字架強制撤去事件
 - 浙江省の公認教会の指導者・顧牧師の抗議・逮捕、
 - 2016年1月「資金流用」の冤罪で強制解任／2017年1月逮捕、同年12月釈放
 - 萎縮効果／拡大抑制
- 王怡牧師 成都大学の元教授(憲法学)、公共知識人
 - 非公認教会(家庭教会)の秋雨之福聖約教会を創立／独自の学校運営／天安門事件記念の6月4日に「国家祈禱日」／ウェストミンスター信仰基準を採択
 - 2018年12月9日 一斉検挙 王怡牧師夫妻、信徒約100名が一斉拘束
 - 2019年12月26日 有罪判決 「国家政権転覆扇動罪」懲役9年、政治権利剥奪3年、5万元限没収。
 - 妻や信徒は釈放されているが監視状態

小結

- 条件付き付き「信教の自由」の中でのキリスト教
- それにもかかわらず数的な急成長
- キリスト教＝西洋勢力の浸透／国家安全に関わる問題
- 「政治的自由」が制限される中で、いかにして「信仰的自由」を獲得・要求していくか

1-3 香港における「自由」をめぐる諸問題

- 1997年 イギリスから中国に返還
 - 一国二制度⇒高度の自治、五十年は不変／「香港の自由」⇒将来における「中国の自由」
 - 近年、香港の自由度の悪化(NGO「フリーダム・ハウス」)
 - 2014年 雨傘運動:「真の普通選挙」を要求するも成果なし
 - 2019年 逃亡犯条例改正反対運動:条例反対から広範囲な民主化要求へ／警察による暴力的取り締まり
 - 2020年 「香港国家安全維持法」施行:民主化運動の取り締まり
- 2020年6月末 香港国家安全維持法(国安法)が可決・施行
 - 取締対象:国家分裂／政権転覆／テロ行為／外国勢力との結託
 - 取締規準:曖昧 ⇒ 恣意的な取り締まり
 - 民主派勢力(活動家・メディア・団体・組合)への圧力:
 - 逮捕:黄之鋒(ジョシュア・ウォン)、周庭(アグネス・チョー)、戴耀廷(ベニー・タイ)、リンゴ日報創業者の黎智英(ジミー・ライ) ⇒4名ともキリスト者
 - 天安門事件記念碑撤去
 - 議会における宣誓:「愛国者による香港統治」(事前審査)／2021年12月議会選挙／民主派は実質上ゼロ
 - 学校における教育:教科書改訂 愛国主義的内容:「増」、民主主義的内容:「減」／国旗・国歌の義務付け
 - 移民の増加:イギリス:既に20万人以上、今後も増加の見込み／その他:オーストラリア、カナダ／台湾など

1-4 香港におけるキリスト教の概要

- ・キリスト教人口:約 130 万人(人口比約 17.6%)
プロテスタント約 90 万人／カトリック約 40 万人(『香港年報』2021 年)
小学校～高校:957 校の内、約 54%／福祉施設:465 機関の内、約 27%
- ・香港基本法での宗教関係の規定
第 32 条:信仰の自由
第 148 条:中国国内の宗教組織とは相互に不隷属・不干涉・尊重
- ・香港と中国大陸の相違
香港ではキリスト教主義学校、宣教師、教派設立は OK! 今後は……

小結

- ・香港は 1997 年の返還以来、基本的には高い自由を享受
近年、急激に進む「中国化」／言論・報道・出版・集会の自由の制限・後退
「香港の自由の喪失」⇒中国大陸・東アジア・世界へも影響?
- ・「信教の自由」だけ安全地帯でいられるか?
宗教／キリスト教は、政治・政府は無関心・無関係でいられるか?
「政教分離」=宗教／キリスト教は政治に関与すべきでない?

2 中国と香港の状況から考える「政教分離」と「信教の自由」

2-1 「政教分離」とは何か?

- ・何の分離:政治と宗教?／政府と宗教?／政府と宗教団体?
- ・よくある誤解:宗教／キリスト教は政治に関与してはならない。
⇒宗教者・キリスト者は選挙で立候補・投票ができなくなってしまう
- ・本来の政教分離:アメリカの憲法修正第 1 条 (1791 年)
「連邦議会は、国教を樹立する法律、あるいは自由な宗教活動を禁止する法律を制定してはならない」
⇒国教樹立禁止 & 宗教自由の保障
- ・政教分離(Separation of Church and State)
教会(特定宗教団体)と国家の分離=国教制の禁止
政教分離により信教の自由を保障
宗教の政治参加の禁止ではない

2-2 宗教／キリスト教は「中立」か?

- ・親中派寄りのキリスト教:
中立であるべき、政治活動・違法活動には関与すべきではない
依拠する聖書箇所:ローマの信徒への手紙 13 章 1-3 節
「人は皆、上に立つ権威に従うべきです。神に由来しない権威はなく、今ある権威はすべて神によって立てられた

ものだからです。従って、権威に逆らう者は、神の定めに従うことになり、従わぬ者は自分の身に裁きを招くでしょう。」

・呉宗文(シー・ゾンマン／中国基督教播道会の牧師)

「道路占拠は違法行為であり、教会・キリスト者は参与すべきでない」

「民主・自由・人権・法治といった理念を絶対化することは偶像崇拜である」

・鄭保羅(ポール・クワン／香港聖公会の元大主教)

「イエスは、屠り場に引かれる小羊のように…物を言わない羊のように…口を開かなかった(イザヤ 53:7)」

「時には必ずしも声を上げる必要はなく、声なきことが声に勝つ」

・香港の民主派寄りのキリスト教:

キリスト教も政治に関与すべき／民主・自由・正義を守るべき

不正な法律・体制に対しては抵抗(市民的不服従)すべき

依拠する聖書箇所:ミカ書 6 章 8 節:

「人よ、何が善であり主が何をあなたに求めておられるかはあなたに告げられている。正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共に歩むこと、これである。」

・「基督徒守望香港宣言」(2014 年)

「キリスト者の現在の政治情勢に対する立場には大きな分裂があることを私たちは承知しています。したがって私たちは各方面において相互尊重・相互容認が重要であることに同意します。しかしこのことは是非の判断をしないということを意味するわけではありません。もし私たちがダビデとゴリアテの対決の場面で無理やり中立的であろうとしたり和解を促そうとしたりするならば、おそらく悪を利する結果となることでしょう。キリスト者は地の塩・世の光となる責任があります。私たちは社会における正義と罪悪に対して口を閉ざしているわけにはいかないのです。」

・袁天佑(香港基督教協進会・元会長／2023 年 7 月に逝去)

2014 年の雨傘運動の際に教会堂をデモ参加者に解放、賛否両論

『教会の務めは福音伝道と魂の救済にあるのであって政治に干渉すべきでなく、政治に対して中立的であるべきだ』と私たちは簡単に言うことができません。このような理解は教会の務め・福音伝道についての聖書的理解ではありませんし、ジョン・ウェスレーの伝統でもありません！

私たちが信じている福音は人々を罪悪より救い出す福音です。それは単に個人的罪からの救いだけではなく、他者・社会・制度の罪悪により作り出された抑圧からの救いでもあるのです。ですから、私たちが信じている福音は社会や政治にまで及ばなければなりません。『政治的中立』、これは虚言です。政治的立場がない人などいるでしょうか？

ノーベル平和賞の受賞者エリ・ヴィーゼル(Elie Wiesel, 1928-2016)はかつて『中立は抑圧者を助けるだけであり、被害者を助けるものではない。沈黙は虐げる者を永久的に助長するだけであり、虐げられる者を助けるものではない』と述べています。」

2-3 「信教の自由」とは何か？

・信教の自由: freedom of religion/ religious liberty

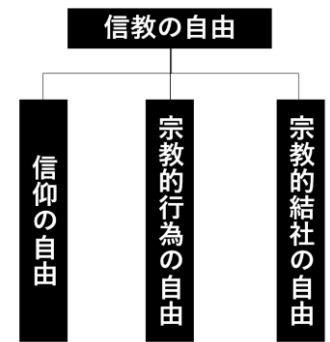
・世界人権宣言 第 18 条

すべて人は、思想、良心及び宗教の自由を享有する権利を有する。

この権利は、宗教又は信念を変更する自由並びに単独で又は他の者と共同して、公的に又は私的に、布教、行事、礼拝及び儀式によって宗教又は信念を表明する自由を含む。

・人権としての「自由」

キリスト教的には「神が与えたもうたもの」／「神の形」(imago Dei=image of God)



2-4 「内面の信仰」さえあれば十分か？

「信教の自由」の三要素

- ① 信仰の自由: 特定の宗教を信じる自由、信仰を変える自由
- ② 宗教的行為の自由: 礼拝、祈祷等を行う自由、布教の自由
- ③ 宗教的結社の自由: 宗教団体を設立する自由、宗教団体に加入する自由

+ α ④信仰的信念に基づく政治的参与の自由: 例) 戦争・原発・死刑制度・差別等への反対運動

・「信教の自由」の維持・獲得のための不断の努力

特に②～④を制限・禁止する法令がある場合には、敢えて法令を破り、法令を変えていく覚悟・勇気・使命
政治・社会など外的世界とのかかわりは不可避・不可欠

3 中国と香港における「自由」のための戦い

3-1 劉曉波:「零八憲章」

・劉曉波 (1955-2017)

中国の民主活動家・作家／2010年、ノーベル平和賞受賞／2017年、61歳で病死(実質上の獄死)
洗礼は受けなかったが、キリスト教思想の影響を大きく受ける

・名言「私に敵はいない。私には憎しみもない。」

授賞式で紹介された言葉／1989年6月 天安門広場でのハンガーストライキの宣言文

・2008年逮捕時の裁判での陳述書:

「憎しみは人の知恵と良知を腐食させ、仇敵意識は民族を墮落させ、生きるか死ぬかという残酷な闘争を扇動し、社会の寛容さや人間性を破壊して、国家が自由と民主に向かうプロセスを阻害する。それゆえに、私は最大の善意をもって政権の敵意に向き合い、愛によって憎しみを消し去ることができるように望んでいるのだ」

・余傑(クリスチャン作家・民主活動家、2012年アメリカに亡命)

「劉曉波の『私には敵はいない』という宣言は、彼の内面の深みにある大きな宗教的情感に由来しており、特に長きにわたって受けてきたキリスト教の影響による」(余傑『劉曉波伝』より)

・「08憲章」

チェコ・スロバキアの反体制運動でヴァーツラフ・ハヴェル(1936-2011)等を中心に起草された「憲章 77」に倣ったもの。／一党独裁の終結、三権の分立、民主化の推進、人権状況の改善等／劉曉波をはじめとする303名の民主活動家、学者、作家、法律家、ジャーナリスト、芸術家などの連名。内30名以上はクリスチャン！！／2016年までに1万3千名を超える賛同者

・「08憲章」の第12項「宗教の自由」

- 1) 宗教の自由と信仰の自由を保障する。
- 2) 政教分離を実行し、宗教の信仰活動への政府の干渉をなくす。公民の宗教の自由を制限もしくは剥奪し

- ている行政法規、行政条例および地方の法規を、再検討し撤廃する。
- 3) 行政が立法で宗教活動を管理することを禁止する。
 - 4) 宗教団体(宗教活動の場所を含む)は登記しないと合法的地位が得られない事前許可制度を廃止し、いかなる審査も必要としない届出制に変える」

3-2 王怡:「信仰的不服従」

- ・王怡(1973-) 成都の非公認教会(家庭教会)・秋雨之福聖約教会の牧師／「08憲章」の署名者の一人
- ・「私の声明:信仰的不服従」(2019年、逮捕直前)

私はまた、教会に対する中国共産党政権の迫害が極めて悪しき犯罪行為である、と考えている。キリストの教会の牧師として、私はこのような罪悪に対して厳しい非難を公にしなければならない。私に与えられている召命が、非暴力によって、そして平和と忍耐の内に、聖書と神に反するあらゆる人間の法律に敢えて背くことを、私に求めている。私の救い主キリストも、悪法に背くことで被るあらゆる代価を喜んで受け入れるようにと、私に求めておられる。

しかしだからといって、私個人と教会の不服従という行為が、いかなる意味においても、決して権利擁護運動や市民的不服従の政治運動ではない。なぜならば、私には、中国のいかなる制度や法律を変革しようという意図など全くないからである。牧師として私が唯一関心を向けていることは、信仰的不服従であり、それによって、罪悪に満ちた人間の本性が揺り動かされ、キリストの十字架が証しされることである。

なぜならば、教会の使命はただ教会となることであり、いかなる世俗の体制の一部となることではないからである。消極的に言うならば、教会は自らをこの世から区別し、自らが世俗の体制の一部となることを避けなければならない。積極的に言うならば、教会のあらゆる行動は、この世に対して、もう一つの世界が真に存在することを懸命に証明することでなければならない。福音と人間の良心に関する事柄においては、神にのみ従うべきであり、人に従うべきではないことを、聖書は私たちに教えている。したがって、信仰的不服従と肉体的忍耐は、もう一つの世界ともう一人の栄光の王を証しする方法なのである。

牧師としての私の不服従の行為は、福音の使命の一部である。大いに宣教するようにとのキリストによる大宣教命令は、この世に対して大いに不服従することを私たちに求めている。不服従の目的は、この世界を変革することではなく、もう一つの世界を証しすることである。

- ・カルヴァン神学／改革派神学の「抵抗権の思想」！！

3-3 香港牧師ネットワーク:「香港 2020 福音宣言」

- ・2020年5月に結成(香港国家安全維持法施行直前)

発起人は香港のキリスト教界のごく一部の有志だが、「福音宣言」には約4000名が署名
「国安法」下での教会の指針を明示
「バルメン宣言」を継承＝ナチス・ドイツと対峙した「告白教会」の路線
「ローザンヌ誓約」を継承＝福音的・教会的路線、社会参与

- ・親中派メディアから「国安法違反」と攻撃

複数の牧師の海外亡命／オンライン上での活動に限定／2021年7月に活動休止、9月に解散宣言

第一項 イエス・キリストこそ、福音そのものである。

イエス・キリストは救い主、王であり、そして福音の土台である(マルコ1:1)。この福音は、神の国の到来と現臨、また罪と悪の闇の力に対する勝利を宣言し、それによって世界のすべてのものに変革をもたらす。したがって、福音は、単に死後における個人の魂の救いに関するものではなく、御国の到来、世の闇の根絶、悪の権威の打倒に関するものである。この福音は、今ここにある世の命を配慮し、癒し、保護するものであ

り、また人類の政治的解放と社会的配慮にまでおよぶ、具体的で行動的、かつ全包括的なものである。

第二項 イエス・キリストこそ、教会の唯一の主である。

教会はキリストの体であり、^{かしら}頭であるキリストに連なり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場である（エフェソ 1:23）。したがって、教会は、最終的には、天の御国の王であり救い主であるキリストに対してのみ服従し、忠実であるのであり、地上のいかなる政治的・経済的支配者や権力者に対してではない。教会はこの世のいかなる権力にも依り頼んで存続を図ってはならず、またそれらによって支配されてはならない。特に、経済発展が他のあらゆることよりも優先されてしまいがちな香港社会において、教会は歴史を鑑とし、すべての偶像を拒否しなければならない。教会は、主イエスの「あなたがたは、神と^(マモン)富」とに仕えることはできない」という教えと、「十戒」第一戒「あなたには、わたしをおいてほかに神があつてはならない」という御言葉を心に刻み、これに生きなければならない。教会はイエス・キリストのほかに救いはないことを、確信するからである。

第三項 教会は、福音を宣べ伝える証人の共同体である。

イエス・キリストと神秘的に結合された体としての教会は、この地上において、イエス・キリストの真の証人となる（マタイ 5:13-16）。したがって、教会は自らの内部発展ばかりを追い求め、安定・安心・繁栄を貪ってはならない。むしろ教会は、イエス・キリストに従う群れとして、その模範に倣い、貧しき者の中に住み、迫害される者と共に歩み、助けを必要とする者に手を差し伸べるべきであり、悪の力による迫害や十字架を背負う苦難を恐れるべきではない。教会は行動によって、イエス・キリストの模範に従うのである。

第四項 教会は、真理の柱また土台であり、虚偽を拒否し、真理を堅く守る。

事実を歪曲し、メディアをコントロールし、真理を埋没させる全体主義統治に直面するとき、教会は、あらゆる虚偽を拒否し、政治権力が犯した誤りを勇気をもって指摘する。教会自身は真理そのものではないが、しかし偽りなき良心をもってイエス・キリストの聖なる御言葉に従い、常に聖霊の声に耳を傾け、謙遜に自らを絶えず新たにし、事実を見究め、真理に生きる（テモテへの手紙一 3:15）。

第五項 霊性と行動は、不可分である。

主イエス・キリストは、「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」と言われた（マタイ 25:40）。教会とイエス・キリストとの関係は、「キリストに従う」という教会の行動に基づいている。したがって、教会の霊性と行動は、分かつことができない。教会の祈りと具体的な行動は結びついており、行動は祈りの実践であり、祈りは行動の基礎である。教会の祈りと行動は、決して止むことがない（テサロニケー 5:17）。

第六項 教会は、暗闇の時代にあつて光の子である。

聖書は「夜は更け、日は近づいた」と告げている（ローマ 13:12）。教会がこの世に存在する目的は、まさに、この暗闇と来るべき日のはざまにおいて、証人となること——すなわち、絶望のあるところに希望をもたらし、不正のあるところで正義を擁護し、憎しみのあるところに愛を広め、虚偽のあるところに真理を追求し、傷つき痛むところを包み癒し、暴力のあるところで犠牲をいとわないことである。教会は神の国を待ち望み、その到来のために祈る。教会は、力の限り、神が人間に賜った尊厳と自由を擁護し、生命を守り、香港人と共に歩み続け、平等・正義・愛という神の国の価値を香港において具体的に示さねばならない。

・「福音宣言」の展開 ⇒ 海外の香港人教会で信仰継承

台湾「淡水香港教会」(王少勇牧師、現在はイギリス移住)

英国「エディンバラ香港基督教会」(楊建強牧師、2021年に逝去)

「我々の信仰(Our Faith)として「使徒信条」、「我々の信念(Our Belife)」として「福音宣言」
＜教会紹介の一文＞「私たちは、聖書を学びを重んじ、主イエス・キリストに従います。2019年の香港を経験した私たちは、信仰においていい加減であることを止め、地に足がついていないキリスト者あることを止めます。私たちは具体的に信仰を実践し、正義と憐れみを行い、真理を語り、虚偽を拒否します。」

4 終わりに

4-1 「Be Water／水になれ！」

・“Be Water, My Friend!” (友よ、水になれ!)

ブルース・リーの名言／2019年の抗議運動・民主化運動の合言葉／水＝自由の象徴

・民主化運動の終焉？ 水は蒸発？ 希望の喪失？ ⇒ 水蒸気はやがて雲となり、雨となる！

「わたしは彼らのために一人の牧者を起こし、彼らを牧させる。それは、わが僕ダビデである。彼は彼らを養い、その牧者となる。また、主であるわたしが彼らの神となり、わが僕ダビデが彼らの真ん中で君主となる。主であるわたしがこれを語る。わたしは彼らと平和の契約を結ぶ。悪い獣をこの土地から断ち、彼らが荒れ野においても安んじて住み、森の中でも眠れるようにする。わたしは、彼らとわたしの丘の周囲に祝福を与え、季節に従って雨を降らせる。それは祝福の雨となる。」(エゼキエル 34:23～26)

4-2 「たとえ明日世界が減びても、今日私はリンゴの木を植える」

・宗教改革者マルティン・ルターの言葉(キング牧師も引用)

Even if I knew that tomorrow the world would go to pieces, I would still plant my apple tree.

「リンゴ日報」の廃刊後……

4-3 「FREEDOM IS NOT FREE!

・先人たちが自由のために払った犠牲

・中国と香港で、今も自由のために闘い、犠牲を払い続けている人々、多くのキリスト者

・あらゆる「罪悪からの自由」は、キリストが十字架上で払ってくださった犠牲・贖いによって与えられるもの！

・日本の私たちが「自由」のためにできること・すべきこと

市民運動としてだけでなく、信仰的運動として……

ウクライナ問題のみならず、身近な東アジアの諸問題への関心

知ること・祈ること・行動すること・連帯すること

「香港 2020 福音宣言」の信仰的遺産の継承

教会が「民主・自由・平和」のプラットフォームとなれるか？

＜香港／中国大陸のキリスト教に関する書籍参考書籍＞

① 松谷曄介編訳『香港の民主化運動と信教の自由』教文館、2021年。

② 朝岡勝・松谷曄介・森島豊編『夜明けを共に待ちながら—香港への祈り』教文館、2022年。

③ 松谷曄介・他共著『増補改訂版 はじめての中国キリスト教史』かんよう出版、2021年。

※著者割引販売リンク先(後日無料郵送) <https://bit.ly/3oc9zNu> (QRコード右)

